

2007年度市民を対象にした文学講座 「太宰治の全小説を読む」



場所 福岡女子大学 セミナー室
時間 14:30～16:00
テキスト 『ザ太宰治』全一冊（第三書館 2940円 税込み）



概要 主要作品を中心に全小説を通読して、伝説化した太宰治の作家像を検証する。出自や心中（未遂）事件などの伝記的事実よりも、作品そのものに焦点を絞り、太宰治が目指したものが何であったかを解明する。

日程表		
第1回	4月13日	昭和8年 列車 魚服記 思ひ出
第2回	4月27日	昭和9年 葉 猿面冠者 彼は昔の彼ならず ロマネスク
第3回	5月11日	昭和10年 逆行(蝶蝶 決闘 くらんぼ 盗賊) 道化の華 玩具 雀こ 猿ヶ島 ダス・ゲマイネ 地球図
第4回	6月8日	昭和11年 めくら草紙 陰火 雌について 虚構の春 狂言の神 創生記 喝采
第5回	6月22日	昭和12年 HUMAN LOST 燈籠 昭和13年 満願 姥捨
第6回	7月13日	昭和14年 I can speak 富嶽百景 黄金風景 女生徒 懶惰の歌留多 愛と美について 花燭 秋風記 新珠の言葉
第7回	7月20日	火の鳥 葉桜と魔笛 八十八夜 座興に非ず 蓄犬談 美少女 ア、秋 デカダン抗議 おしやれ童子 皮膚と心
第8回	8月10日	昭和15年 鷗 俗天使 兄たち 春の盗賊 女人訓戒 女の決闘 駈込み訴へ 老ハイデルベルヒ 善蔵を思ふ 誰も知らぬ
第9回	8月17日	走れメロス 古典風 盲人独笑 乞食学生 失敗園 一燈 きりぎりす リイズ ろまん燈籠
第10回	9月14日	昭和16年 清貧譚 東京八景 みみづく通信 佐渡 服装について 千代女 令嬢アユ 『新ハムレット』 風のたより 誰
第11回	9月28日	昭和17年 恥 新郎 十二月八日 律子と貞子 水仙 『正義と微笑』 待つ 小さいアルバム 日の出前 禁酒の心
第12回	10月12日	昭和18年 黄村先生言行録 故郷 鉄面皮 帰去来 『右大臣実朝』 作家の手帖 不審庵
第13回	11月9日	昭和19年 裸川(『新釈諸国噺』) 佳日 散華 雪の夜の話 義理(噺) 花吹雪 東京だより 貧の意地(噺) 人魚の海(噺) 『津軽』 女賊(噺)
第14回	11月23日	昭和20年 大力(噺) 猿塚(噺) 破産(噺) 赤い太鼓(噺) 粹人(噺) 遊興戒(噺) 吉野山(噺)
第15回	12月14日	竹青 『惜別』 『お伽草紙』(瘤取り 浦島さん カチカチ山 舌切雀) パンドラの匣
第16回	12月28日	昭和21年 庭 親といふ二字 嘘 貨幣 やんぬる哉
第17回	1月11日	十五年間 未帰還の友に 冬の花火 苦悩の年鑑 チヤンス 春の枯葉
第18回	1月25日	雀 たづねびと 『薄明』 親友交歓 男女同権／
第19回	2月8日	昭和22年 トカトントン メリイクリスマス 母 ヴィヨンの妻 父
第20回	2月22日	女神 フォス・フォレッセンス 朝 『斜陽』 おさん
第21回	3月14日	昭和23年 犯人 酒の追憶 饗応夫人 美男子と煙草 眉山 渡り鳥 女類 桜桃
第22回	3月18日	『人間失格』 グッド・バイ 家庭の幸福

